

令和4年度 福井県立武生高等学校（全日制） 学校関係者評価書	
【記入内容】 ・令和4年度の成果と課題について ・令和5年度に向けての改善策・向上策について	
【意見をお聞きした方々】 PTA会長、PTA副会長5人 PTA総務部長、PTA進路部長、PTA環境部長、PTA研修部長、PTA広報部長 以上11名	
学校業務改善のための取り組み	
成果と課題	・部活動の外部指導者の導入を積極的に進められないか。教育委員会の方針、県の予算の問題もあり容易ではないが、先生方の負担を減らしながら部活動もできる体制を望む。 ・人員が減る中、単なる残業時間短縮目標だけではなく、業務内容の洗い出しによる本質的な効率化に向けた取組実施が求められる。
改善策・向上策	・部活動の外部指導者に関しては、管理職の方から県とも予算折衝を続けていく。 ・ノー残業デーの完全実施を目指し、施設時間そのものを早めるなど実施方法の検討に加え、DX技術を推進しながらの学校業務の効率化を目指したい。
教育課程・学習指導等（教務部）	
成果と課題	・概ね、授業に対する生徒の満足度は目標指数を上回っている。 ・今後も生徒たちがより理解しやすい授業の工夫をお願いしたい。同時に保護者側においても、家庭での学習時間を増やしていける工夫が必要であると思う。
改善策・向上策	・全生徒に配布されたタブレットの活用方法・ICTやリモート学習の功罪を考慮しつつ、授業研究体制をさらに深めていく。 ・生徒との個別面談を通して進路目標に向かっての有効な時間の使い方を指導していくとともに、ICTを活用して家庭との情報共有を強化していく。
生徒支援（生活部）	
成果と課題	・人権の尊重という意識の指導は今後ともお願いしたい。武生高校生だからこそ議論があっても良いと思う。 ・「武高生としてふさわしい」に子どもと教員の意識のずれがあると感じる。 ・デジタルリタラシーの啓蒙はさらに必要となると思う。 ・部活動は様々な問題から高校に限らず縮小傾向だと感じる。部活動でこの時期にしか得ることのできない多くのことがある。工夫をしながらの両立を期待している。一方で、コロナ禍でも県外遠征や試合が行われるようになり子どもたちのやる気も高まり、文武を両立できている子が増えていると感じる。
改善策・向上策	・生徒自身による改革、生徒の自主性を育む活動、生徒自身が理解し行動できるような支援の機会を今後も拡大していきたい。 ・生活部だよりの活用、入学式や保護者会を活用しての啓発活動、PTAの協力も得ての「見える指導」の実施、新しい「LH指導案」（教務部との連携）の作成などをさらに継続し、様々な課題に取り組んでいく。 ・部活動については、その意義は十分に認識をしている。多くの意見をお聞きしながら、今後も活性化を行いたい。
進路支援（進路部）	
成果と課題	・子どもと保護者が最も重視している点であり、様々な情報をこれからも保護者の方にも発信していただきたい。 ・指導内容の満足度が生徒と教職員で異なる点があることを踏まえ、取組の再考が必要。 ・国立大や難関大学の合格者数はわかりやすい指標だが、それが全てとも限らない。
改善策・向上策	・オンライン等の利用も強化しながら、生徒と保護者双方に対して効果的に行い、早期に目標設定ができるように支援したい。 ・可能な限り、生徒と教職員の意識の差がなくなるように仕掛けをしていくよう心がける。 ・国立大難関大学受験重視は生徒集団の動機付けとして継続していくが、私立大志望の生徒も意識して指導を展開したい。
保健管理（保健部）	
成果と課題	・コロナ禍の中、家庭と学校が協力して、大きな集団感染が抑えられており、感謝。 ・身体面は勿論、精神面での問題が全国的にも深刻化しているように感じる。些細なことでも相談できる機会や話すことができるよう、外部の専門的な方とも連携していけると良いと思う。
改善策・向上策	・コロナに関してはマスク着用義務の変更、5類に引き下げられるタイミングで、国や県の指針を考慮しながら新たな取組指針の検討をしていく。 ・さらに、特別支援教育コーディネーターや外部カウンセラーなどの充実をしていく。
保護者との連携・防災（庶務部）	
成果と課題	・PTA活動における保護者と学校との連携は十分とられていたと思う。 ・奨学金制度は生徒と保護者の両方に情報が提供できるようにお願いをしたい。 ・豪雨や大雪への対応に関しては、さらに対応策を検討していく必要があると感じる。
改善策・向上策	・引き続きPTA活動を盛り上げられるように学校側も努力をしていく。 ・奨学金に関しては、HPを利用した情宣等も考えたい。 ・危機管理については、学校全体でのマニュアルの強化と、柔軟性をもった判断をしていけるようにしたい。
図書広報活動（図書広報部）	
成果と課題	・ホームページもわかりやすくなり、更新も増え、閲覧が楽しみになった。生徒のインスタグラムも良い。ただし、作成側と保護者の間には、まだ意識の差もあるようだ。さらなる改革を期待する。 ・SNSの広がりにより、読書時間の減少を実感する。偏りのない読書から得られる知識・情報・経験により人間としての幅の広がりが増すことを願う。一方で、電子書籍の導入も検討の時期が来たようにも感じる。
改善策・向上策	・ホームページのプラットフォームそのものを変更しての改善も視野に入れる。 ・図書委員の生徒を中心に図書紹介等の取り組みを強化する必要性を痛感する。紙媒体の読書の魅力やメリット・意義を模索する一方で、電子媒体を通じた読書といったことも検討の必要がある。
理数教育の充実（SSH・探究科）	
成果と課題	・本年度も課題研究や探求学習の成果として多くの表彰を受けていた。継続をお願いするとともに、他校でも力を入れてきている。武生高校の独自性を持った指導・活動が他校との差別化となることを期待する。また、受賞の外部への情宣もお願いしたい。
改善策・向上策	・各種発表会への参加や学会での発表を今後もより多く実施できるよう指導に取り組んでいく。生徒の意識を高め、さらなる発展を図りたい。 ・今年度ホームページのSSHの部分大きく改良し、活動の様子や受賞について広報してきた。今後も充実したものになるよう取り組んでいく。
心の環境整備（いじめ対策委員会）	
成果と課題	・今後も未然の防止・啓蒙と早期対策の解決にあたってほしい。 ・生徒に対する教職員のハラスメントの有無に関する調査も必要になると思う。
改善策・向上策	・「情報を共有し、組織的に対応する」ことの重要性を教員各自が深く理解し、学年主任が中心となり教員間と保護者間で重要事項の説明、対応等が迅速に行われるように連携を強化したい。